

# 「むつ・下北地区赤十字奉仕団活動研究会」を開催！

## ～東通村赤十字奉仕団～

10月11日(木)、東通村体育館を会場に「むつ・下北地区赤十字奉仕団活動研究会」が開催されました。

赤十字奉仕団は、赤十字の思想である人道・博愛のもと、災害救援や地域社会の福祉向上を推進する活動を行っています。

「共に生きる喜びを分かち合う赤十字奉仕団活動」を全体テーマとして、日本赤十字社青森県支部及びむつ・下北地区管内の赤十字奉仕団約130名が集まった活動研究会は、「地震災害から学ぶ」と題した赤十字奉仕団指導講師の講演、むつ市、川内町及び大畑町奉仕団委員長の活動発表、分科会での学習会などにより、互いの活動内容や意見交換を行いました。

団員の減少や高齢化など様々な問題を抱えながらも、「すべての人々のしあわせを願う力となつて人々に奉仕する」ほか、赤十字奉仕団の信条にならない、引き続き活動していくことの重要性を再認識しました。



祝辞を述べる越善村長

# 『忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認』

## ～平成30年秋の火災予防運動～



「子ども園ひがしどおり幼年消防クラブ」によるアトラクション

空気が乾燥し、火災の危険性が高くなる秋を迎え、火災予防啓発のため青森県秋の火災予防運動(期間10月15日(月)～21日(日))が行われました。初日である10月15日(月)、東通消防署前で防火パレード出動式が行われました。

「こども園ひがしどおり幼年消防クラブ」による元気いっぱいのアトラクションが行われた後、一斉に車両点検を行い、村内への防火の呼びかけに動きました。

これから日ごとに寒さが厳しくなり、暖房機器などの使用が増え、火災が発生しやすい時期を迎えます。火の元には十分注意しましょう。

# 地域住民の安全・防犯対策のため、村へ街路灯寄贈



越善村長に目録を手渡す江刺家所長



越善村長に目録を手渡す平野所長

東北電力(株)むつ電力センター(江刺家公也所長・写真上段)と(株)ユアテックむつ営業所(平野孝徳所長・写真下段)から、村へ街路灯が寄贈され、11月2日(金)に村役場において寄贈式が行われました。

この街路灯の寄贈は、これまで両社が「明るい街づくりに向けた取り組みと安全・防犯に寄与したい」と、自治体に対して行ってきたものです。

式では、「地域社会の明るい街づくりのため活用してください」と、江刺家所長からLED街路灯18基、平野所長から取付工事一式の目録が、それぞれ越善靖夫村長に手渡されました。

今回寄贈された街路灯は、村内の老朽化した街路灯の建て替えや未整備箇所を設置し、村の安全・防犯の為に活用します。

# 子どもたちの環境・エネルギー教育のために教育副教材寄贈



11月2日(金)、東北電力(株)東通原子力発電所(鶴田真孝所長)から、東通小・中学校を対象とした教育副教材が寄贈されました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書などの環境やエネルギーに関する多くの副教材を寄贈しています。

40回となった今回は、実験器具など計7点を寄贈いただきました。

今回の実験器具などを含め、これまで寄贈いただきました副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。

### 原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが閣議決定し、制定されました。